

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23404	保育の基礎講座 Introduction to Nursing	小田良枝	✓	共通	2	選択	1後期

科目の概要

30年の保育現場での経験と子育て支援センターおよび病児保育室を併設した複合型幼保連携型認定こども園の改築に携わった経験を活かし教育を行う。乳幼児の栄養を考える時、保育の現場について理解することは、重要なことであると考え。「保育」の意味を理解すると共に乳幼児期の実際の生活を見ること、特徴を知ることにより、「保育」の中の食育の重要性を広く理解する。保育所で働く専門職の栄養士として、保育施設や保育者の役割、援助の方法などを学修し、職場や社会に貢献できる人材を育成する。

学修内容	到達目標
① 乳幼児の生活文化、食文化を理解する。 ② 乳幼児の特徴、「保育」の意味を考える。 ③ 保育関連の施設を知る。 ④ 保育者の役割、援助の方法を学ぶ。 ⑤ 食育の意味、重要性を考える。	① 乳幼児の生活文化、食文化を具体的に説明できる。 ② 心身の発達の特徴をふまえ、「養護と教育」を説明できる。 ③ 保育関連の施設の実態を説明できる。 ④ 保育者の役割、援助の方法を説明できる。 ⑤ 食育の意味、重要性を知り説明できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	課題や次回の授業内容の提示に対し、主旨を受け止め、進んで取り組み、さらに課題を分析するのに必要な知識についてテキストや文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	一度決めたことは最後までやりきることができる。
考え抜く力	課題発見力	現代の子育て状況を理解し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ発表の際、聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）話すポイントが整理され発表できる。
	傾聴力	グループワークで人の意見を受容し、さらに自分の意見を述べる事ができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「保育の学び スタートブック」久富陽子 編著 萌文書林 1000円
 参考文献：厚生労働省、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019年改訂版）」「保育所における食事の提供ガイドライン（平成24年3月）」「授乳・離乳の支援ガイド（2019年3月）」「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：栄養教育実習、栄養士学外教育実習指導、食物アレルギーの医学・基礎と対応
 資格との関連：栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
・講義ノートは細目にとり、配布プリントと共に整理し、まとめておくこと ・課題の折り紙製作は、課題の月ごとにまとめノートに貼り付けておく。	・乳幼児の成長に関わる大人(人的環境)としての自覚を持ち 授業に臨むこと。 ・授業中の私語は周囲の迷惑となるので慎むこと。携帯電話は電源を切りカバンの中に入れておくこと。 ・各週授業終了後シラバスに記載されている予習・復習内容を指示されなくても各自ノートに記述しておくこと。（記述していない場合は減点対象）

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①		<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を理解できているか確認する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学修した内容とする。 		
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	20	①		✓	
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
		レポート	40	①		✓	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育」に関する課題。 広く調べて自分なりの言葉でまとめる能力を評価する。 ・課題を複数回、出題する。 実施時期、テーマは授業中に指示をする。 ・まとめレポートについて タイトル、提出日 後日連絡する。
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①		✓	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の内容について、理解度を確認するために成果発表を行う。グループ討議のメモ用紙(3点)、プレゼンテーションの成果(7点) ・1分間の発表。 ・表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 課題等の主旨を捉え、進んで取組み自己学修ができたか評価する (実行力) 決めたことは最後までやりきることができたか評価する (課題発見力) 現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する (創造力) 他者と活動する中で多角的に物事を考えることができたか評価する (発信力) 相手に分かりやすい、話しのポイント、方法ができているか評価する		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓	(傾聴力) グループ活動の際意見を述べる事ができるか評価する (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行できるようルールを守ることができる。		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルに加え、 S：社会人基礎力のうち90%修得できている。 A：社会人基礎力が80%修得できている。 ①「保育」の意味をよく理解し、説明ができる。 ②乳幼児の心身の発達および保育方法が説明できる。 ③食育で育てたい力(幼児期の食育の目標)が理解し、説明ができる。 ④食育は、知育・徳育・体育の基礎であるという意味を理解し、説明ができる。	到達レベルに加え、 B：社会人基礎力のうち70%修得できている。 C：社会人基礎力のうち60%修得できている。 ①「保育」の意味が理解できている。 ②乳幼児の心身の発達および保育方法を、理解しようと努力する態度がある。 ③幼児期の食育の目標が理解できている。 ④食育は栄養教育ではないという意味を理解できている

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の目的、進め方などの説明 ・食育と保育について学修する。	講義 ・オリエンテーション ・質疑応答にてフィードバックする	食育と保育の意味、繋がりが記述できる。	(復習) プリント① 「保育所・幼稚園の歴史」を学ぶ。 ・求められる栄養士としての専門性について、自分の考えを記述する。	180	主体性 傾聴力 規律性
2	保育の意義と社会的責任について学修する。 ・子ども子育て新支援制度について学修する。	講義 ・前週の講義内容をスライドのまとめから確認する。 ・すすくくジャパンの資料から理解を深める。 ・質疑応答にてフィードバックする	保育所・幼稚園の歴史を学び理解する。子ども子育て新支援制度について理解する。	(予習) 授業で渡したプリントを読む。 (すすくくジャパンの資料) (復習) 保護者の就労による保育の場の違いをまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
3	保育所・幼稚園の歴史を学ぶ。 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について学修する。	講義 ・前週の講義内容をスライドのまとめから確認する。 ・3園の違いを指針から理解する。 ・質疑応答にてフィードバックする	保育所・幼稚園の歴史の違いを理解する。 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の三法を理解する。	(予習) 授業で渡したプリントを読む。(保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領) 保育所・幼稚園の歴史を学ぶ。(復習) 三園の特徴についてまとめる。	180	実行力 課題発見力 規律性
4	幼稚園、保育所の一日の流れから違いを学習する。 食べ物に関わる簡単な玩具を作成する。	講義・演習 ・DVD視聴 ・質疑応答にてフィードバックする	幼稚園・保育所の日常生活、遊び、食事などの保育内容が理解できる。簡単な玩具を作成し、発表することが出来る。	(予習) 配布の幼稚園の日課、保育所のデイリープログラムから違いを5点まとめる。 (復習) 簡単な玩具を通じ食に関心を持つ遊びを考える。	180	課題発見力 規律性
5	園の一年、行事、記念日から伝統文化を学習する。七夕について理解を深める。簡単な七夕飾りを作成する。	講義・演習 ・質疑応答にてフィードバックする	園の一年の行事を知り、伝統文化が子どもにとってどのような良い影響があるのか自己の考えをまとめることができる。	(予習) 園の一年の様子についての配付資料を読み、自分の園児の頃の記憶を振り返る。 (復習) 季節・行事に関する歌や絵本を調べる。	180	創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	園生活の1日の流れと保育者の役割を知る。行事の展開の取り組みから2歳児のクラス活動について学ぶ。身近な物を使用した簡単な玩具を作成する。	講義・演習 ・DVD視聴 ・質疑応答にてフィードバックする	園生活の1日の流れと保育者の役割を理解する。行事の展開の取り組みから2歳児のクラス活動について理解する。身近な物を使用した簡単な玩具で遊ぶ楽しさを理解する。	プリント⑤・「園の日課」 (予習) 日課表を見て気づいたことを5点まとめる。 (復習) かぶを使った子どもと取り組める料理を5種類考える。	180	主体性 規律性
7	保育所以外のいろいろな児童福祉施設や保育現場、子どもとの関わりについて学修する。	講義 ・DVD視聴 ・グループ活動 (グループ討議のメモ書きを提出) ・質疑応答にてフィードバックする	保育所以外のいろいろな児童福祉施設や保育現場、子どもとの関わりについて理解し、説明することが出来る。	(予習) 保育者(保育所等に勤務する栄養士も含む)らしさについて特徴を考え5つの箇条書きにまとめる。 (復習) 自分が関心をもった保育所以外の保育現場について自分の住んでいる地域にある施設について調べ、まとめる。	180	発信力 傾聴力 規律性
8	「お弁当の日」とは何か、意味を理解する。和食;日本人の伝統的な食文化」を知る。	講義 ・DVD視聴 ・質疑応答にてフィードバックする	「お弁当の日」の取り組みについて理解する。和食;日本人の伝統的な食文化」の理解をする。お弁当とコショウ、家庭での食事の繋がりについて述べる事が出来る。	(予習) テキストのp58-59から和食の特徴をまとめる。配布プリントを読み、子どもが食べたいと思える環境を3つ考える。 (復習) 自分と家族、それぞれにお弁当を作成し、レポートにまとめる。	180	主体性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	乳児期の授乳と離乳の意義と食生活を学修する。乳汁栄養および離乳の定義と必要性について学ぶ。	講義 ・DVD視聴 ・質疑応答にてフィードバックする	乳児期の授乳と離乳の意義と食生活を理解する。乳汁栄養および離乳の定義と必要性について説明することが出来る。	(予習) テキストのp62-84を読み、子どもの月齢による授乳回数や離乳食の進め方をまとめる。 (復習) 離乳食の様子DVD視聴でメモを取り、保育者の一人として関わり方を記述し提出する。	180	課題 発見力 柔軟性 規律性
10	幼児期の心身の発達と食生活について学修する。食事やおやつなどの組み合わせ等を通して正しい食生活のあり方を学修する。	講義 ・グループ活動 ・前週の講義内容を「離乳食ガイドライン」を参考に振り返る。 ・質疑応答にてフィードバックする	幼児期の心身の発達と食生活について学修する。幼児期特有の食行動について、保護者・子ども双方に向けた具体的な支援方法を理解する。	(予習) 事前配布の保育所の献立やテキストのp86-96を読み、幼児のお弁当の献立やおやつの内容を知る。 (復習) 「楽しく食べる環境」について子どもの味覚の発達から理解しまとめる。	180	発信力 傾聴力 規律性
11	保育における食育の意義・目的と基本的な考え方について学修する。	講義 ・グループ活動 ・質疑応答にてフィードバックする	保育所における乳幼児とその保護者に向けた食育の基礎を理解し、食育推進の基本的な考え方について理解する。	(予習) テキストのp110-120を読み、「避けたい9つのコショク」について考えをまとめる。 (復習) クッキングの体験活動を考え、保育者の一人として具体的な活動を記述する。	180	発信力 傾聴力 規律性
12	食育の内容と計画および評価について学修する。	講義 演習 ・グループ活動 ・質疑応答にてフィードバックする	食育の取り組みの視点が多様であることを理解し、食育の計画、実施、評価、改善のPDCAサイクルで食育に取り組むことを理解する。	(予習) テキストのp122-136を読み、保育所における食事の提供の意義を調べる。 (復習) 食育の考え方を体系的に整理しまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
13	地域や家庭と連携した食育の展開を学修する。	講義 ・グループ活動 まとめを提出する。 ・質疑応答にてフィードバックする	地域の関係機関との連携 ・グループ活動 まとめを提出する。 ・質疑応答にてフィードバックする	(予習) テキストのp138-148を読み、食を通じた保護者に対する取り組みを10考えて記載する。 (復習) 食育についての記事・話題を探し、保護者支援の必要性をまとめ記述する。	180	発信力 傾聴力 規律性
14	「弁当の日」の実践記録から、命を育む食について学ぶ。	講義 ・グループ活動 報告文提出 ・質疑応答にてフィードバックする	・お弁当の日の意味を理解することが出来る。 ・感染症や食中毒など子どもへのわかり易い伝え方を工夫することができる。	(予習) テキストのp162-182を読む。事前配布の「お弁当の日」の取り組みの資料を読んでおく。 (復習) 今までの授業で関心を持った内容について調べ、発表できるようにまとめておく。家族のためにお弁当を作成する。	180	課題 発見力 創造力 規律性
15	保育所における食育についてのまとめを学修する。 ・現場に取り入れる具体的な保育施設や保育者の役割、援助の方法などを理解する。	講義 ・グループ活動、グループ発表 ・質疑応答にてフィードバックする	・授業で学んだ内容を理解し、伝えることが出来る。 ・14週間の講義内容から「保育」の中の食事の意義を理解する。	(予習) 学んだ事をふまえて今までの授業で関心を持った内容について調べ、発表できるようにまとめておく。	180	主体性 課題 発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力